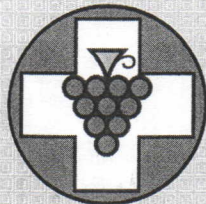


日本福音ルーテル教会 女性会連盟 第 22 期 145 号

会報



総主題

「キリストが望んでおられる」 喜び・祈り・感謝

2012. 10. 15

発行 日本福音ルーテル
教会女性会連盟
〒169-0072 東京都新宿区
大久保 1-14-14

発行者 加藤 和子
編集者 寺嶋 文世
印刷 平山印刷出版

主題聖句

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。」
テサロニケの信徒への手紙一 5.16～18

あなたへ



喜び、祈り、感謝

日本福音ルーテル教会事務局長

牧師 白川 道生

女性会連盟・第22期の主題聖句は「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべてのことに感謝しなさい。」です。

さて、どうしたものか？ この聖句を読むと、これはとても無理な話だと思うのではないでしょうか？ 文字通りに、「いつも、絶えず、すべてのことに」となれば、神様ではないので、誰しも不完全を囲う人間にとっては無理な話であつて、主題としては成立しない。そうなる、出だしから今期の主題選択で、失敗したとなるのでしょうか？

イエスキリストの生涯では、繰り返して、弟子たちの無理解や落ち度ある言動にも忍耐し、前に向かうように促されたお姿を見つめます。そして、欠け多き弟子たちでしたが、彼らの未来を信じて忍耐してください。主イエスの赦しの言動に影響を受けて、人間的に大きな成長を遂げ、後世に大きな貢献を残す程の活躍をする人物へと育まれていった足跡をみる事ができます。その事と、「いつも、絶えず、すべてのことに」と合わせて、「物事の順

序」こそが、大切だと思わされるのです。とかく相手の出方次第で自分の出方を変えていくようなところが多い私たちです。だからこそ、物事に取りかかる前に、覚悟を決める。そうして自分から先んじてという順序で、喜び、祈り、感謝を考える不可逆的な順序が、ひいては事柄の消息を左右するのだと思います。

覚悟、それは未来を拓いてゆくのに欠かせない要素だと考えます。ともすれば、眼前の出来事だけに囚われる私たちの目を未来に向けるように促し、腹に力を入れてくれます。「今はどうすることもできない。しかし、きっとこの後には…。」

この育みと包容の中で、時間をかけて未来は拓かれてゆきます。気付いたら改めて、断続的だからダメだと嘆かず、諦めないで考え直して取り組んでゆく。そういう覚悟の持続と繰り返しては、「神があなたがたに望んでおられる」事柄に重なってくるのではないかと考えています。